



Report 3 4000人が秋の比和を満喫 第21回比和やまびこ祭

第21回比和やまびこ祭が10月6日、比和総合運動公園で開催され、市内外から約4,000人の来場者でにぎわいました。ステージ上では、伝統芸能「比和牛供養田植」、西城町神楽愛好会による「比婆荒神神楽」など、さまざまな演目が披露され、会場からは歓声と拍手が送られました。

また、同時開催のツーリングトライアル in 比和から、オートバイ・トライアル全日本チャンピオンの黒山健一さんが特別出演。次々と繰り出されるオートバイの妙技に会場は一際大きく盛り上がりました。

この日は、からだいきいき健康祭も同時開催され、バザーコーナーでは広島牛のモモ丸焼きが販売されるなど内容盛りだくさん。訪れた人々も「見どころがいっぱいで、楽しい一日が過ごせた」と笑顔があふれていました。



▲大人気のやまびこくん(左)
オートバイパフォーマンス(右)

Report 4 身近な教材で地域の歴史を学ぶ 峰田小学校出前授業



総合的な学習の時間を利用して地域の歴史について学習する出前授業が10月2日、8日の2回、峰田小学校で開催され、5・6年生14人が参加しました。

児童は市歴史民俗資料館で市内の歴史について学んだあと、峰田地域にある古墳や神社などを見学。オリジナルの勾玉(まがたま)を作ったり、土器パズルなどの歴史教材を使ったりして、身近な歴史を学びました。

参加した児童は「自分たちの住んでいる地域にこんなに大きな古墳があるのを初めて知った」「勾玉作りはとても難しく、古代の人はすごいと思った」と驚いていました。

▲土器パズルに挑戦する児童

Report 5 心地よい口和の音づくりでイメージアップを ワークショップ発の口和の音CD作成へ

自然の音を収録したCDを作る「CD編集講習会」が9月29日、口和郷土資料館で開催されました。

この講習会は、クラスターのまちづくり「音の里構想」のワークショップから生まれた取り組みで、口和町内で収録した鳥のさえずりや虫の鳴き声などの音をCD化し、公共施設などで流すことで、「やすらぎのまち」のアピールと口和地域のイメージアップにつなげようと企画されたものです。

この日参加したワークショップのメンバー6人は、講師の松前徹さんから、人が心地よいと思える音を収録する方法や、収録した音に強弱をつける方法などCD作成のためのノウハウを学びました。

メンバー代表の三吉龍次さんは「口和の音をより多

くの人に聞いてもらえるよう、できるだけ早くCDを作りたい」と意欲を見せていました。



▲松前さん(右上)の説明を真剣に聞く参加メンバー

市内のイベントやまちの話題をお届けします。
身近でホットな情報をお寄せください。
情報政策課広報広聴係
☎0824-73-1159 / Fax0824-72-3322

Report 1 豪華ステージと圧巻の餅つきで来場者沸く 総領おいでん祭2013

総領地域で2年に一度行われる「総領おいでん祭2013」が10月6日、総領支所裏の芝生広場で開催され、約5,000人の来客でにぎわいました。

会場には地元自治会などによる出店が立ち並び、ステージでは総領保育所の園児によるダンス、マジックショーや総領スカオーケストラなどが披露され、来場者を楽しませました。



▲ジェロさん

午後からは、総領町の亀谷自治会の皆さんによる、世界一の餅つきが披露されました。元気な掛け声とともに、大きな杵と臼で餅がつけられる様子は圧巻。つけられた一石(150kg)



▲約30人がかりで一石の餅をつきあげる

の餅は、来場者に配られました。

また、さくらまやさん、ジェロさん、新人演歌歌手の飛鳥とも美さんの豪華3ゲストによる歌謡ショーもあり、会場は大いに盛り上がりしていました。

Report 2 安全円滑な救急搬送体制の確立を目指す 防災ヘリ救急搬送訓練

防災ヘリコプターを要請した際の関係機関相互の連携強化と、安全かつ円滑な救急搬送体制の確立を目的にした防災ヘリ救急搬送訓練が9月25日、道後山クロカンパークで行われ、見学者も含めおよそ20人が参加しました。

訓練は、陸上の競技中に熱中症でけいれんを起こし意識レベルが低下した選手を救急搬送するという想定で実施。事故発生連絡を受けた庄原消防署西城出張所が防災ヘリを広島県防災航空隊に要請し、約15分後に施設内に設営されたヘリポートに到着。消防署員と航空隊員が連携しながら、庄原市消防団西城方面隊員と市職員が扮した傷病者を救助しました。



▲防災ヘリに搬入!

訓練終了後、参加者は防災ヘリを見学。プロペラ1枚で家が買えるという迫力ある機体を眺めながら、航空隊員の説明に耳を傾けていました。

県防災ヘリ「メイプル」は、エンジンを2機搭載しており最高時速250kmで航行、広島空港発着で県内全域どこでも25分以内に到着可能です。

広島県防災航空隊の原田俊治隊長は「防災ヘリは特別なものではない。他の救急・防災施設や車両同様、どんどん活用してほしい」と呼びかけていました。

Report 6 農・食・文化体験に笑顔 2013 秋“こうぼ”大収穫祭

高畷自治会による「2013 秋“こうぼ”大収穫祭」が10月12・13日、高野町のふるさと村高畷で開催されました。

都市部との交流を目的に企画され、今回で7回目を迎えるこのイベントに、岡山県倉敷市や呉市などから約150人が訪れにぎわいました。

参加者は、12日は前夜祭としてそば打ち体験、13日は地元の特産品が並ぶ食体験や、吊りかごづくりなどの体験コーナーに参加。中でも親父野菜作りサロンが育てた野菜の収穫ができる農業体験コーナーが好評で、大根や白菜、落花生など、区画ごとに植えられた野菜が次々に収穫され、あっという間に無くなってい

ました。

参加者は「毎年この収穫祭を楽しみにしている。来年も絶対来ます」と喜んでいました。



▲手打ちそばの実演

Report 7 会場に笑顔の花が咲く 第31回ふれあい東城まつり



▲客席通路を練り歩く東城町連合ひよっこ踊りクラブ

第31回ふれあい東城まつりが10月19日、東城自治振興センターをメイン会場に開催され、約600人の人手でにぎわいました。

県民文化祭備北地区フェスティバル庄原地区大会の予選会を兼ねた「ふれあいステージ」では、町内の20グループが合唱や芸能、ダンスなどバラエティに富んだ発表を行い、たくさんの笑顔の花を咲かせていました。

歯科検診をメインにした健康広場や、浜田桂子さんの絵本原画展、バザーコーナーなど、文化の秋を満喫する一日となりました。

Report 8 子どもたちの元気と笑顔はじける 第14回庄原こどもミュージカル

庄原こどもミュージカルによる公演「星の王子さま」が10月20日、庄原市民会館で行われ、第1部、第2部合わせて約1,200人が訪れました。

2000年から続くこの公演は今年で14回目。公募で集まった庄原市・三次市・福山市・岡山県津山市の幼児から高校生までの子どもと大人計90人は、この日の公演に向け、6月から練習を積み重ねてきました。

ステージに立った子どもたちは、多くの観客の視線を浴びながら、それぞれの役を精一杯演じ、体全体で表現。ダンスでは元気いっぱい笑顔がはじけ、会場からは大きな歓声と拍手が送られていました。

実行委員長の見玉節さんは「これまで多くの皆さんの支援をいただき、今年も公演することができた。感謝の気持ちでいっぱい」と話し、脚本・演出・指導を務めた増田明さんは「子どもたちは本番に強く、いつも感心させられる。子どもたちの成長する姿を来年も

ぜひ見に来てほしい」と話していました。



▲元気いっぱい演じる子どもたち